

同志社大学

2008年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2009年 3月 19日提出

所 属	職 名	氏 名
法	准教授	戒能通弘
研 究 題 目	近代英米法思想の展開—ホッブズ＝クック論争からリアリズム法学まで—	
研 究 成 果 の 概 要	<p>本学紀要に、「近代英米法思想の展開(一)—クック、ホッブズ、ヘイラー」が掲載予定(2009年5月)である。</p> <p>また、「ベンサム法の法実証主義、功利主義と近代」、日本法哲学会編『法思想史学にとって近代とは何か(法哲学年報2007)』(有斐閣)、80-90頁は、次の論稿のテーマと関連がある。</p> <p>なお、研究題目とは直接の関連はないが、海外の学術雑誌(Journal of Bentham Studies)に論文が掲載された。</p>	